

2011年度日本数学会賞建部賢弘賞受賞者の横顔

2011年度の日本数学会賞建部賢弘賞の授賞式は、2011年度秋季総合分科会の際の9月29日（木）15時00分より、長野県松本文化会館にて行われました。

受賞者については、「数学通信」第16巻3号の会報143でお知らせいたしました。建部賢弘賞は1999年度より特別賞、奨励賞の2部門となりました。受賞者の方々の紹介は、今までと同様にご本人からプロフィールを数行書いて頂き、写真と共に掲載することになりました。（五十音順、敬称略、所属は受賞時点のものです。）

特別賞

阿部知行（東大 IPMU 助教）

業績の題目：数論的 D 加群の研究と数論幾何学への応用

正標数上の多様体の性質を数論的 D 加群と呼ばれるコホモロジー理論の観点から研究しております。長きにわたって指導して下さった 斎藤秀司先生を始めたくさんの支えて下さった方々にこの場を借りて御礼申し上げたいと思います。

加藤周（京大理准教授）

業績の題目：エキゾチック Deligne-Langlands 対応の研究

受賞は光栄です。分野は幾何学的表現論です。専門的な話が通じる人が若い人に増えて欲しいです。よろしければHPをご覧ください。

栗田和正（お茶の水女大人間文化創成講師）

業績の題目：拡散過程のカップリングに基づく幾何解析

ランダムなものの解析を通じて非ランダムな世界を眺めるとき、そうするのが自然な状況ですら、いつも不思議な心地が致します。先達の先生方および学友の皆様から頂く援助と刺激が、常日頃から励みとなっております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

奨励賞

今井直毅（京大数理研助教）

業績の題目：局所的な手法による Galois 表現の研究

数論的な対象のモジュライ空間とその Galois 表現への応用について研究しています。これまでの研究は、学部程度の代数の手法で頑張るというのが多かったのですが、今後は大学院レベルの数学を使いこなして研究できるようになりたいなと思っています。

梶野直孝（Univ. of Bielefeld）

業績の題目：フラクタル上の熱核の漸近挙動の研究

フラクタルと呼ばれる「粗い」幾何構造を有する空間における、ラプラシアンや熱方程式

について研究しています。微分構造に基づく従来の解析学とは異質の現象の数々がこの分野の魅力です。新（珍）現象の発見に日々力を注いでいます。

久野雄介（広島大理学振 PD）

業績の題目：リーマン面の位相幾何学の研究

曲面の写像類群を、主に群コホモロジーの観点から研究しています。少しでもよい仕事をし、数学の発展に貢献したいと思います。この場をお借りし、常日頃お世話になっている先生、友人、そして家族に深く感謝申し上げます。

権業善範（東大数理博士2年生）

業績の題目：極小モデル理論とアバンダンス予想の研究

代数多様体の構造を調べる上で標準因子と呼ばれる因子に着目し、その特殊性を見極める研究を行っております。この場を借りて、支えてくださった先生方、友人、家族に深く御礼申し上げます。これからも一層精進いたします。

三竹大寿（広島大工学振 PD）

業績の題目：ハミルトン・ヤコビ方程式の解の長時間漸近挙動の研究

楕円型・放物型（非線形）偏微分方程式又は方程式系の粘性解理論や、弱 KAM 理論によるハミルトン・ヤコビ方程式と力学系の関連について研究してきました。今後も一層の努力をし、研究に勤しみたいと思っています。最後に、この場をお借りして、今までお世話になった方々に深く御礼を申し上げます。

* * *

2011年度日本数学会賞建部賢弘賞奨励賞受賞者の一人である権業善範会員が、第2回（平成23年度）日本学術振興会育志賞を受賞されました。対象となった研究課題は「極小モデルとアバンダンス」です。昨年度の佐々田慎子会員に引き続き、日本数学会からの推薦者が2年連続受賞という快挙となりました。心からお慶び申し上げます。

2010年度創設になる日本学術振興会育志賞は、大学院博士課程在学中の院生に授与される賞です（詳細については <http://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/> を御覧ください）。日本数学会は毎年、育志賞の候補を推薦していますが、その方法は、『数学通信』第15巻3号会報139第14項でお知らせしました通り、建部賢弘賞受賞者であってしかも大学院博士課程学生であるものから1名を選定し、日本数学会賞受賞候補者選考委員会の議を経て推薦するというものです。この方法は日本学術振興会への推薦時期が5月頃であることを前提に決めたものですが、学術振興会からの連絡によると、来年度育志賞候補の推薦時期は3月に早まるということなので、実際には上記の方法を厳密に守ることは困難となりました。つきましては建部賞の受賞者だけでなく、受賞が見込まれる候補者をも推薦対象に含めることにしたいと思います。育志賞にふさわしい優秀な大学院生をご存知でしたら、できるだけ早く2月中に、建部賢弘賞候補として推薦いただくよう、お願い申し上げます。

（理事長 記）